

会 議 録

会 議 名	令和4年度 第2回佐久市環境審議会
事 務 局	環境部 環境政策課 環境政策係
開 催 日 時	令和4年11月22日(火) 13時30分～15時40分
開 催 場 所	佐久市役所 南棟3階 会議室
出席委員	<p>平林 公男委員、沖津 博人委員、池田 雅子委員、          小宮山 尚明委員、出澤 丈夫委員、麻生 知子委員、          中澤 あけみ委員、坂川 和志委員、金澤 忍委員、          依田 丈夫委員、宮嶋 恵理委員、吉傘田 正行委員、          西村 昌博委員、池田 京子委員、廣澤 三和子委員、          廣田 美聖委員</p> <p style="text-align: right;">16名/20名出席</p>
事務局	<p>山田環境部長、檜山環境政策課長、堀川環境政策係長、          環境政策課 環境政策係 木次、佐塚、小林、          株式会社知識経営研究所 田中</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 会長あいさつ</li> <li>3 審議事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第二次佐久市環境基本計画の改訂（素案）について</li> <li>(2) 脱炭酸社会の実現に向けたロードマップについて</li> </ol> </li> <li>4 その他</li> <li>5 閉会</li> </ol>

	<p><u>1 開会</u></p> <p><u>2 会長あいさつ</u></p> <p><u>3 審議事項</u></p> <p><u>(1) 第二次佐久市環境基本計画の改訂（素案）について</u></p> <p><u>【資料No.1-1、1-2、3、4、5】</u></p>
事務局	<p>《資料No.1-1、1-2、3、4について説明》</p>
委員	<p>資料3の3ページ、No.22について、温室効果ガスの中でメタン、一酸化二窒素については、算定の対象外になっていますが、近年、水田と畑から多く排出されており、佐久の面積の20%を超える部分が農業に関わる土地であるので、もう少し農業分野について触れていただいた方が良いのではないかと思います。</p>
事務局	<p>農地分野のところに追記をします。</p>
委員	<p>農協では、適正な土壌づくりを目的に、無料の土壌診断や化学肥料に依存しない自然に近い形の栽培、ドローンを使った稲作の播種等、組合員の皆さんにご協力いただくような形のことも進めているので、そういったことも含め具体的に記載いただくと、市民の方はより分かりやすいと思います。</p>
会長	<p>農業分野でやっていることがなかなか見えていないというところも大きな問題だと思います。それぞれの関係者の方たちがやっていることが見えるような形で、それぞれの立場の方がどうやっていけば良いのか、そういうコミュニケーションがとても重要かと思います。</p>
委員	<p>今のお話についてはぜひ載せていただきたいと思いますが、二酸化炭素削減に繋がるだろうという取り組みなのか、43%の削減に資するものなのかは少なくともこの審議会の中では整理して区分けしながら進めた方が良いと思います。</p>
事務局	<p>市の温室効果ガスの排出量の算定にメタンは入っていませんが、メタンも温室効果ガスの一つですので、メタンの削減というのは地球温暖化対策</p>

委員	<p>全体に寄与していくものであると認識しています。</p> <p>世界全体で見れば、メタンや一酸化二窒素というのは非常に大きな数値ですが、日本全体で見るとその数値は多分数%です。温室効果という意味で言えば、日本の場合であれば純粋に二酸化炭素を減らすということで良いかと思います。ただし、その他にできることを上積みしていくということで、特に農業分野で、お二人の委員からお話いただいたことも注意してやっていくということは非常に大事だと思います。</p>
委員	<p>資料4の1ページ、No.4について、副読本を以前に提案させていただいたのですが、子供たちに配ると家庭でも読んでもらえますので、できるだけ早急をお願いしたいと思います。</p> <p>資料3について、公共交通や自転車を使うということがよく提案されますが、自転車道はほぼ整備されていないので、実際はとても難しいと感じました。まず自転車道の整備があり、もっと公共交通を一般市民に使いやすくするというのが良いかと思います。施策として書く場合、もっと具体的に書いた方が分かりやすいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>基本計画は具体的な施策というところまで書き込む性質のものではないので、具体的に記載することは難しいです。</p> <p>また、事務局としては普及啓発の活動が必要ということは認識していますが、副読本という形で実現するかどうかは今の段階では申し上げられません。</p>
会長	<p>環境分野にも関わっていますが、多くの分野が関係してくるので、市で部局長会議等を利用しながら今のような意見を出していただいて、実現可能なことがあれば実現していくという形で進めていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>《資料No.5について説明》</p> <p><b>【No.1】</b> 意見なし</p> <p><b>【No.2】</b> 意見なし</p>

	<b>【No. 3、4、5】</b>
会長	基本目標1～5の修正案は、文章を入れ替えるという意味でしょうか。それとも追記するという意味でしょうか。
事務局	追記いたします。重複するところがあれば調整いたします。
会長	追記したものを提案していただかないと審議ができないので、ここでは方向性だけを決定し、事務局で修正したものをもう一度委員の皆さんに見ていただくような形でお願いします。
委員	素案の冊子全体を通して、原因というものをしっかり入れ込んでいかないとPDCAを回していくような形に繋がらないと思います。
会長	PDCAについては項目があり、循環させてチェックしていきますと書いてあります。全体的にということですが、具体的にどこへどういう形でというご意見をいただかないと反映は難しいと思います。
	<b>【No. 6】</b>
会長	アンケート結果で評価することが可能なので、アンケートにこういった設問を入れて指標の追加をするということですか。
事務局	毎年評価できる指標が存在していないので、毎年の評価は不可能ということで加えています。計画策定時のアンケートを5年刻みで評価し、満足度や達成状況を見ることはできますが、そうすると指標の目標値の設定が必要になってくるので、それらを踏まえて設定すべきかどうかご審議いただければと思います。
委員	街の景観は、主観的で個人によって違いますので、具体的なものがなく定性的になります。定量化ができるものは指標を定めますが、定性的にしかできないものは、指標に代わるものでやるしかないと思いますので、少し柔軟に使いながら運営していくのが良いのではないかと思います。
委員	全てを指標化、モニタリング指標を伴う必要はないと思いますので、今の議論の流れでよろしいかと思います。
委員	私は移住者ですが、街並みの美しさというのは移住する上においてのポイントになりました。指標と言っていいのか分かりませんが、移住者からすると街の美しさというのは一つの大きな決め手になりますということ

	<p>をご理解いただきたいと思います。</p> <p><b>【No. 7、8】</b> 意見なし</p> <p><b>【No. 9】</b></p>
会長	<p>検討した結果、提案できないということでしょうか。</p>
事務局	<p>今後、温暖化対策を進めていく中で、2050年が最終目標という表現になっていますが、直感的にはそこで終わりと感じてしまいますので、そのような捉え方にならないように表現を変更していきたいということです。“長期目標”や“2050年目標”などの表記に変えたいと考えていますので、適切な目標の設定についてご審議いただきたいと思います。</p>
会長	<p>事務局としては、どれがベターだと思いますか。</p>
事務局	<p>“2050年目標”でいかがでしょうか。</p>
委員	<p>ゼロカーボン社会の実現のターゲットは2050年です。大きな国の施策に合わせるのであれば、今は長期目標というのが良いのではないかと思います。</p>
会長	<p>国や県との関係もあると思いますので、審議会とすれば今の通りですが、後は事務局でご検討いただきたいと思います。</p> <p><b>【No. 10】</b> 意見なし</p> <p><b>【No. 11】</b></p>
委員	<p>事務局案では「森林吸収量」となっていますが、意見は「森林吸収源対策の推進」としており、これはすごく広範な対策が必要になるものだと思います。環境に結びつくようなことについては、ただやりますというだけではなくて、モニタリング指標を決めて、PDCAを回しながら取り組んでいけたら良いのではないかと思います。</p>
事務局	<p>森林吸収源対策を推進した結果が脱炭素社会の実現に繋がっていくので、「森林吸収量」の数値を指標としたいということでご提案しています。</p>

委員	<p>事務局案の「森林吸収量」は、森林簿などのデータから毎年の結果として数値で示すことができるものなので、それは入れてほしいと思います。</p> <p>また、「森林吸収源対策の推進」は、森林として十分に機能していくために非常に広範なものが含まれていると思います。例えば、間伐の規模や再生林の割合を決める等、それについてどのように対応していくのか、具体的な表現を盛り込んでほしいと思います。</p>
会長	<p>この件も林務部門との調整が必要になってきますので、これも部局長会議等で意見を出していただきたいと思います。環境審議会としては、環境の部分にフォーカスを当てていきたいと思っています。</p>
会長	<p><b>【No. 1 2】</b></p> <p>意見なし。</p> <p><b>【No. 1 3、 1 4】</b></p> <p>荒船山の下層植生や、佐久平駅周辺の生態系については、継続して検討を要する意見ということで、すぐに計画に入れるという内容ではないので、次回改訂の時にこのような項目を落とさないようにしていただきたいと思っています。</p>
事務局	<p><b>3 審議事項</b></p> <p><b><u>(2) 脱炭酸社会の実現に向けたロードマップについて</u></b></p> <p><b><u>【資料No. 2、 6】</u></b></p> <p>《資料 2、 6 について説明》</p> <p>意見なし</p>
委員	<p><b>4 その他</b></p> <p><b>【委員からの意見等】</b></p> <p>今回の審議会は、「大枠を審議していく」という場であり、「個別的な案を出していく」というのは別のものだと思います。皆さん色々な意見があり、それぞれ価値観も違いますので、市には個別的な案を吸い上げる方法を検討し、システム化してほしいと思います。</p>
委員	<p>資料 3 の 5 ページ、No. 4 9、No. 5 0 について、パブリックコメントを募集したけれども結局何ら反応はなかったというのは、非常に大きな問題であると思います。周知の仕方が上手くなかったのか、あるいはあまりにも</p>

委員	<p>難しく、自分事として捉えにくくてコメントができなかったのか、どうしたら市民の反応が私達に返ってくるかということについて、ぜひ工夫していただきたいと思います。</p> <p>私もパブリックコメントで意見がなかったということが一番ショックでした。これは市民が悪いのではなく、周知の仕方が悪かったのだと思います。プランありきではなく、市民の方にどうやれば理解していただけるのかももう一度考えていただきたいと思います。緊張感を持って対応しないと佐久市も大変なことになりますということを上手く落とし込んでいただいて、市民一人一人が自覚を持てる良い市になってほしいと思います。</p>
委員	<p>資料1-2の61ページ、上段図の橙色部分「対策強化による削減量」ですが、これが今回の改訂の一番の目玉です。ここは相当重要な観点かと思しますので、これで終わりにならないようにしていただきたいです。</p> <p>また、森林の吸収量の図や数値がこの素案の中に入らないと思います。ロードマップでは維持という形になっていますが、該当のページを見てもよく分からず危機感が伝わらないと思います。</p>
事務局	<p><b>【事務局からの連絡事項】</b></p> <p>(1) 開催通知や資料等につきましては、可能な限りペーパーレス化をしていきたいと考えています。通知等をメールでお受け取りいただける委員は事務局へ連絡してください。</p> <p>(2) 次回の審議会は、「第二次佐久市環境基本計画改訂の答申案」についてご審議いただく予定で、令和5年2月6日(月)午後を開催する予定です。</p> <p><b>5 閉会</b></p> <p style="text-align: right;">(終わり)</p>